

山田クリニック ぽすと

平成24年 11 月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

診察室から

今年も残り2ヶ月になり、何となく来年の予定が入ってくるようになりました。医師会の会合、保健所の会合、もろもろの学会の案内など、気ぜわしくなってきました。少し早いですが、一年を振り返ると、在宅診療の件数が少しずつ増えてきています。特に、脳卒中後遺症の方の在宅依頼が増えてきています。去年から、彦根保健所が中心になって、『湖東地域脳卒中クリティカルパス』を作成し、脳卒中になった直後の急性期（命の危険のある時期）、回復期（後遺症に対するリハビリを行う時期）、在宅診療期（病気前と同じように家で過ごす時期）の各々の時期をうまく連結して、スムーズな治療を行うことができるようになったことが理由にあるように思います。後遺症が重く、一人では病院に受診できない方でも訪問診療を行うことで、適切な医療を受けることができ、自宅で過ごせるようになりました。今後『湖東地域脳卒中クリティカルパス』が、さらに広がることで、これまでは入院生活を余儀なくされていた重症脳卒中後遺症の方が在宅で過ごせるようになるかと思えます。インフルエンザワクチンの予防接種が始まっています。接種後は6ヶ月間、効果が持続しますので、できるだけ、今月中に接種を受けるようにしてください。

検査室より

血糖値が高めといわれたら・・・？

食欲の秋です。でも血糖値が気になる方も多いのではないのでしょうか？ではなぜ血糖値が高いと悪いのでしょうか。それはまず、糖尿病の引き金となります。高血糖な状態が続くと糖尿病へとつながります。糖尿病予備軍、プレ糖尿病などとも呼ばれます。高血糖を改善することで、いまの段階では糖尿病を予防することも可能です。糖尿病は1度なると治りませんのでとても大切な時期です。また、血液がドロドロになります。血糖値が高いというのは代謝に異常があるということです。血糖値が高い人では、善玉コレステロールが低くなったり、中性脂肪が高くなる場合が多くみられます。余分な血糖は血管が炎症を起こす原因となり動脈硬化も進みます。さらに体重が増え易くなります。血中の糖とインスリンの量は食欲にも関わります。正常な状態ではお腹が空くのは血糖値が低めの時、食事の後は血糖値が高めになり、インスリンによって正常レベルの血糖値に戻ります。しかし、インスリンがうまく作用しなかったり、血糖値の高い状況が続くことで、空腹・満腹のシグナルがうまく働かなくなります。体重増加→インスリン抵抗性→高血糖値→更に食べる、という悪循環に陥り易くなってしまいます。

風・物・詩

七五三

男の子は3歳と5歳、女の子は3歳と7歳の年の11月15日に、成長を祝って神社・寺などに詣でる年中行事。3歳は髪を伸ばす「髪置（かみおき）」、5歳は初めて袴をつける「袴着（はかまぎ）」、7歳は、それまでの紐付きの着物に代わって、本仕立ての着物と丸帯という大人の装いをする「帯解（おびとき）・紐落（ひもおとし）」の名残りである。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	△	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

午前診察 9:00～12:00 △:水曜日は11:00まで

午後診察 4:00～6:00

ご連絡

11月17日(土)は
学会出席のため休診いたします。

